

事業所名

放課後等デイサービス おりーぷprime教室

支援プログラム

作成日

令和

7年

1月

20日

法人（事業所）理念		一人一人に寄り添った支援							
支援方針		各分野の専門家がお一人お一人の療育を担当します。 ・教育、心理、など、各分野のエキスパートがチームとなり、お子様の可能性を引き出します。 学習支援をはじめとする療育、両方が充実しています。 ・個別学習ニーズに合わせたプログラムや効果的な療法を提供し、お子様の可能性を引き出します。							
営業時間		13時	0分	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠、食事、排泄、衣服の着脱等の基本的な生活リズムを身に着けるよう支援しています。（健康への意識へつなげる） ・手洗い・うがいなどを行うことで感染症から自分の身体を守ることを根気強く伝えています。また、水分補給をこまめに行うことを伝えています。（健康状態の把握へつなげる） ・身の回りを清潔にし、週末は上靴を洗ったり、使った衣類を選択したりして、生活に必要な基本的技能を習得できるように支援していきます。（基本的生活スキルの獲得へつなげる） 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びが苦手な子どもや身体を動かすことの好きな子ども達に向けて、音楽に合わせて遊ぶダンスなどを提供し、身体全体を動かせるようにしています。（姿勢と運動・動作の獲得へつなげる） ・基本動作である手を振って、足を上げて元気よく歩くこと、手指を使って物を掴んだり、挟んだりする作業を作業療法士の支援を受けて行っていきます。（個別の感覚活用へつなげる） ・バランスボール、ボールプール、ハンモック、ターザンロープなどを使って感覚統合遊びをしたり、クッションボール、感覚遊びができるようにしています。（感覚特性への対応） 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の表情を読み取るのが苦手な子どもが表情や感情を描いた絵カード等を用いて人の思いに気づき適切に処理できるよう環境整備したり、支援したりしています。（認知に対して） ・トランプを使って神経衰弱、ババ抜き、ポーカーゲーム、スピードなどのゲームを仲間で行って色々なルールを知ったり、SSTカードを使って適切な行動の仕方を学んだりしています。（認知の偏り対応） ・数量・形の大きさ・物の重さ・色の違い等の習得するためプリント課題をしたり、視覚で分かるような時計で時間を知ったりして楽しく学んでいます。（数量・大小・色などの習得へつなげる） 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり一人の特性に合わせて色々な遊びの中で体験したことが理解できるように「目で見て理解できる」内容を聞きとって指導員が代弁し、その事柄を声や音として分かるように支援していきます。（言語の形成と応用へつなげる） ・自分の思いを簡単な手段（手話）で気持ちを知らせたり、文字を書いて返事や思いを友達に伝えたりして仲良くなるきっかけを作っています。（人との相互作用によるコミュニケーション手段へつなげる） ・思いを伝えようとする手段として欲しいものを指でさしたり、身振り手振りで（ジェスチャー）やよかったこと嫌なことをサインなどで知らせることができるようにしています。（コミュニケーションと手段の選択へつなげる） 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもそばで色々なことを教えてくれる大人、一緒に楽しく遊ぶ友達と親密な関係を築き、信頼関係に繋がられる周りの人と安定した環境を形成するための支援をします。（他者とのかかわり（人間関係）の形成へつなげる） ・一人遊びから同じ場所で同じ遊びを個々に楽しむ並行遊びに移行し、遊びを一緒に楽しく進める遊びから、ひとり一人が役割やルールを守って楽しむことができるように支援します。（協働遊びへつなげる） ・グループごとに役割を決めたり、小集団同士で競い合うゲームを企画して遊びや集団生活に参加できるような支援を行う。（仲間作りと集団への参加につなげる） ・個々の発達に応じたかかわり方を提案し、自分の出来ること出来ないことを理解し気持ちや感情・情緒の調整ができるような支援を行う。（自己理解と行動の調整へつなげる） 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての困りごと等を丁寧に聞き取り、家庭と放課後等デイサービス事業所の役割を明確にして、より良い療育と一緒に考えていきサポートに繋がります。 ・個別支援のかかわりや面談などを通じて療育の仕方をお伝えし共有していきます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・学校、相談支援事業所などに、お子様の姿や学習などの様子を聞きとって療育に活かしていきます。 ・必要に応じて事業所を訪問し、連絡を取り合っ、具体的なかかわり方を共有していきます。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・地域で開催される夏祭りなどに参加したいと思っています。また、学校での子ども達の姿を見て、様子を聞いたりしてかかわりをもっています。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待・身体拘束・感染症等の研修を年2～3回行っています。 ・自己アンケートを行い職場に対して、自分に対して振り返りを行います。 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた行事 ・プレゼント製作（母の日・父の日等） ・買い物体験・社会見学・公園遊び・感覚遊び・ボルダリング等 							